

カラス 被害軽減のヒント



カラス被害対策を行う上で、カラスがどのような生き物であるかを知ることは大事である。今回はカラスの五感について紹介したい。

カラス被害対策を行う上では、カラスがどのような生き物であるかを知ることは大事である。今回はカラスの五感について紹介したい。

さらに、味覚も鈍そうである。われわれヒトの舌には、味蕾という味を感じるセンサーが約9千個ある。一方で、カラスの味蕾は口腔内に約300個しかなく、ヒトの30分の1しか無い。しかし、食べ物の好みはある。高タンパク質、高脂質の食べ物は大好物だ。

カラスの聴覚は人間と同様

さらに、味覚も鈍そうである。われわれヒトの舌には、味蕾という味を感じるセンサーが約9千個ある。一方で、カラスの味蕾は口腔内に約300個しかなく、ヒトの30分の1しか無い。しかし、食べ物の好みはある。高タンパク質、高脂質の食べ物は大好物だ。

ヒトとカラスの色覚の違いのイメージ



マヨネーズに群がる
カラス

確に捉える必要があるからだ。くちばしも敏感である。



マヨネーズに群がる
カラス

さらに、カラスの色覚は優れている。ヒトは三原色で色を見ているのに対し、カラスは近紫外線も認識できるため四原色で色を見ている。ヒトとは全く異なる色で世界を見ており、わずかな色の違いも識別できると考えられる。

触覚は優れていると考えられる。空を飛ぶトリ全般にいえることだが、翼で気流を的遠くから食べ物を発見し、ピ

レドニアガラスはくちばいでハシボソガラスは地中の虫などをくちばしで探索する。二ユーカレドニアに生息する力

触覚は優れていると考えられる。空を飛ぶトリ全般にいえることだが、翼で気流を的遠くから食べ物を発見し、ピ

レドニアガラスはくちばいで木の枝などを加工し、絶妙な力加減でイモムシを釣り上げられる。

次回は、これらカラスの生物としての特徴に加え、カラスの習性を踏まえた上で効果的な被害対策を紹介した

味・においに鈍く 色覚など優れる

カラスは当てずっぽうで容器選ぼせる実験をしたところ、お腹をすかせたカラスに

やかしたドッグフードをい もう一方には何もいれず、お腹をすかせたカラスに

カラスは当てずっぽうで容器

い。
(塚原 直樹 株式会社C
rowLab代表)

ンポイントで飛来する。網膜にある神経節細胞の数は、ヒトが約100万個に対し、カラスは約360万個、視細胞の数は、ヒトが平方メートル当たり約1万個に対し、カラスは9万個あり、われわれよりも高い分解能で対象物を見ているに違いない。

さらに、カラスの色覚は優れている。ヒトは三原色で色を見ているのに対し、カラスは近紫外線も認識できるため四原色で色を見ている。ヒトとは全く異なる色で世界を見ており、わずかな色の違いも識別できると考えられる。

次回は、これらカラスの生物としての特徴に加え、カラスの習性を踏まえた上で効果的な被害対策を紹介した